



豊川市

本庁舎等整備ニュース

vol.
1

豊川市では、本庁舎の老朽化や狭あい化、バリアフリー化やユニバーサルデザインへの対応等が求められており、市民の皆様安心して利用いただける庁舎とするとともに、職員の執務環境の改善を図るため、本庁舎等の建替えに向けた検討をはじめました。

令和5年8月頃までに「豊川市本庁舎等整備基本構想」を策定し、庁舎整備に向けた基本的な方向性を明確にした上で、その後、令和6年7月頃までに具体的な整備内容を定めた「同基本計画」を策定していく予定です。



本庁舎等整備の検討がスタートしました！

令和5年6月5日（月）に、「第1回豊川市本庁舎等整備基本構想・基本計画策定委員会」を開催し、学識経験者や各種団体代表、公募市民などを交えた、本庁舎等の整備に関する基本構想・基本計画の策定に向けた検討がスタートしました。



■竹本市長からのあいさつ

専門家としてのご意見や、各種団体の立場に立ったそれぞれの発言をお願いしたいと思います。また公募委員のお2人の方におかれましても、新庁舎の建設に熱い思いがあらうかと思いますので、是非とも積極的なご議論をお願いいたします。



第1回策定委員会・議事内容

- (1) 本庁舎等整備の必要性について
- (2) 本庁舎等整備基本構想・基本計画の策定について
- (3) 本庁舎等整備の基本的な考え方について
 - ・基本理念、基本方針(案)
 - ・本庁舎等の規模、整備の考え方(案)

★ 本庁舎等整備の必要性について ～現庁舎の課題及び整備の必要性～ ★

《現状と課題》

- ① 著しい老朽化に対して最適なコスト負担のもと早急に対策することが必要。
- ② 利用者の利便性や事務効率を高めるため、各支所庁舎に分散している組織の集約化を図ることが必要。
- ③ 窓口、執務室等の狭あい化について改善を図ることが必要。
- ④ バリアフリー化及びユニバーサルデザインなどへの配慮について、根本的な解決を図ることが必要。
- ⑤ 環境負荷の軽減を図ることが必要。
- ⑥ 住民サービスの向上を図るため、デジタル社会に対応した庁舎とすることが必要。
- ⑦ 本庁舎のあり方と合わせ配慮すべき事項について一体的に検討することが必要。
- ⑧ より有利な財源確保のため、令和6年度中の実施設計への着手が必要。

▼ 現本庁舎は一定の耐震性は確保されているが、施設・設備の老朽化が著しく早期の対策が必要
▼ 有利な合併推進債の活用、課題解決の観点から、より早期の建替えを行うことが効果的

★ 本庁舎等整備の基本的な考え方について ～基本理念、基本方針(案)～ ★

基本理念	基本方針	想定される必要機能
<理念1> すべての人にやさしく 開かれた庁舎	方針1 スムーズに手続きできる庁舎	【窓口・相談機能】 窓口サービス、総合案内、待合スペース等
	方針2 誰もが利用しやすい開かれた庁舎	【ユニバーサルデザイン】 トイレ、授乳室、キッズスペース、案内・サイン等 【アクセス機能】 駐車場・駐輪場、連絡通路、バス停留所等
	方針3 誇りと親しみを感じられる庁舎	【交流機能】 広場空間、市民交流スペース、情報発信スペース等 【デザイン・シンボル性】 豊川らしさを受け継ぐデザイン・機能等 【利便機能】 金融機関、コンビニ・カフェ、休憩スペース等
<理念2> 安全安心と柔軟性を 備えた庁舎	方針4 災害発生時にも業務を円滑に継続できる庁舎	【災害対策機能】 災害対策本部、災害対応スペース、情報発信等
	方針5 社会情勢の変化に対応できる庁舎	【バックアップ機能】 ライフライン・情報システムバックアップ対策等
	方針6 財政負担の軽減に配慮した庁舎	【可変性】 壁のない空間、多目的利用空間等
<理念3> 最先端かつ健全な 市政を支える庁舎	方針7 地球環境にやさしい庁舎	【長寿命化】 長寿命化に資する建築構造・設備、改修・修繕のしやすさ等
	方針8 効率的な職場環境が整った庁舎	【環境機能】 省エネルギー、再生可能エネルギー活用、ZEB対応等 【緑の空間・地域産材の活用】 屋外緑化、地域産材の活用等
	方針9 議会機能が十分に発揮できる庁舎	【執務環境】 執務室、共有スペース、会議室、福利厚生等 【文書管理・収納機能】 書庫、倉庫、文書管理システム等 【情報・通信基盤】 ICT活用、情報セキュリティ対策等 【議会機能】 議場、傍聴席、委員会室、議員控室、図書室等

■策定委員からの主な意見・提案(抜粋)

策定委員からは、基本理念・基本方針(案)に対して、次のような意見・提案が出されました。



子ども連れのお母さんたちには授乳室やトイレなどが必要。重点的に取り組んでいきたい。

手続きの窓口以上に、居場所や会議など交流の場になる。クリエイティブな議論ができる場所になることが求められる。

マイナンバーカードが普及することで今の手続きがどう変わるのかを想定して検討したい。職員の配置も変わるのではないかな。

住民に開かれた本部機能が重要。市民に本当に頼りにされるような施設、本庁舎にしたい。

駐車場は自家用車で来られる方を想定して、場所や安全性を細かく検討してほしい。

オープンスペースなどの環境面も重要になります。より来やすく、利用しやすい市役所にしたい。

地域住民と市役所の関係は強い結びつきが重要。行政の立場を考えて整備してほしい。

バリアフリー化など、身体障害者に特化するわけではないが、考慮してほしい。

豊川市は合併により行政の施設が分散している。できる限り集約して、市民がワンストップで手続きできるような庁舎にしたい。

豊川らしさをどう表現していくのか気になる。上手に活用して親しみを持てるような空間にしたい。

以上の意見や提案を踏まえ、引き続き基本構想の策定へ取り組んでいきます